

# 新成人の皆さん！

## ご成人おめでとうございます！

### ～新成人の「誓いの言葉」～

1月11日に予定しておりました成人式は、本来であれば164人の新成人が出席される予定となっていました。式典に参加されるすべての方々の健康と安全を考慮し、中止という苦渋の決断に至りました。当日の「新成人の誓い」の大役を引き受けてくださった2名の代表者から、読み上げていただく予定でした『誓いの言葉』をお寄せいただきましたので、紹介をさせていただきます。

今日まで私達を見守り、育て、ご指導いただきました家族や先生、地域の皆様に深く感謝すると共に、私が次なる世代を見守る側に成るという自覚を持ち、社会貢献に励んでいきたいと考えております。

さて、私は高校を卒業した後、進学ではなく、職に就くことを選択いたしました。それは、私自身の「夢」の実現のためです。私の夢は家業を継ぎ飲食の世界に携わることです。

そして、私は夢の実現のため、お鮎屋で働き、そこで沢山の貴重な経験をさせていただきました。料理に対する考え方、接客など様々です。その中でも一番印象に残っているのは、海外出張です。そこでは、日本ではあまり経験のできないことも経験しました。

例えば、水道からの水は飲食には使えませんし、水道自体もあまり整備されていない国や、宗教的理由でアルコール、又はアルコールを原料としている物が禁止の国もありました。色々な所に行く度に、日本の素晴らしさを実感しました。そこで、私は、日本の素晴らしい所を守っていかなければならないと考えました。

この変化の激しい時代の中ではありますが、良いところはしっかりと残し、より素晴らしい国へ、一步一步、近づいていけるよう、精進していきたいと考えております。

ですが、私達はまだまだ未熟です。この先、迷い、戸惑う事があるかもしれません。その時は、何卒、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます、成人の誓いの言葉とさせていただきます。



平井地区代表  
須長辰友さん



大久野地区代表  
濱中達之大さん

今日、世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルスの影響で、既存の様々な社会課題が悪化し、世界中で混乱が生じております。

私事にはなりますが、私は大学で社会福祉を学んでいます。総務省の調査によると、日本の65歳以上の人数は約3617万人で、これは人口の3割を占めています。超高齢社会となったこの国で、今後重要とされている考えは地域化です。施設や専門職だけでなく、住民達も含め、地域全体での助け合いを軸にした支援の展開が望まれています。

この助け合いという考えは、高齢者福祉のみならず、昨今のコロナ禍でも大切であるように思います。当たり前の中にも、周りを見渡せば困っている人がいるかもしれない。そんな人達に手を伸ばす。特別な力を持った誰かではない、平々凡々な自分自身が、隣にいる誰かのヒーローになれる、ならなければならない。そんな時代であるように思います。また、今、自分になにができるのかを考え、積極的に行動する姿勢も、私達新成人にとっての第一歩である

と思っています。

最後になりましたが、成人を迎えたとはいえ、私たちはまだまだ未熟です。この先の人生でも多くの困難に戸惑い、時には間違いを起こすと思いますが、どうか温かい目でご指導、ご鞭撻をいただきますようお願い申し上げます。簡単ではございますが、以上で新成人誓いの言葉とさせていただきます。

成人の門出を祝う式典が開催できなかったことは大変残念なことでありました。新成人の皆さんも、同級生との久しぶりの再会を楽しみにしていたことと思います。先が見えない状況ではありますが、苦しい時こそ感じられる喜びを大切に「誓いの言葉」にもあるように、夢を持ち、互いに支え合いながら、苦難を乗り越えていきましょう。皆さんの益々の発展と幸多き未来をお祈りしております。